

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 仁

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	8,028	72.0	3,010	268.9	3,024	298.5	1,928	381.9
21年3月期第3四半期	4,666	—	816	—	758	—	400	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	151.16	143.40
21年3月期第3四半期	94.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	14,519	10,907	75.1	855.12
21年3月期	11,460	8,984	78.4	2,112.90

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,907百万円 21年3月期 8,984百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,653	58.4	2,998	235.3	2,995	254.9	1,799	282.1	141.03

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	12,756,000株	21年3月期	4,252,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	12,756,000株	21年3月期第3四半期	4,252,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成21年8月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。なお、配当の状況における22年3月期(予想)の1株当たり配当金及び平成22年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した株式数により算定しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出に一部回復の動きが見られたものの、深刻な雇用情勢やデフレ進行等による企業収益の低迷及び個人消費の落ち込み等を背景に、全般的には厳しい状況で推移致しました。

このような環境にあつて、当第3四半期連結累計期間におきましては、国内の衛生対策意識の高まりから、当社衛生管理製品「クレベリン」シリーズに対する需要が著しく拡大し、感染管理事業の売上高が飛躍的に伸長致しました。また、国内止瀉薬市場の縮小影響や海外市場における円高影響等はあつたものの、主力製品『正露丸』や『セイロガン糖衣A』を中心とする医薬品事業は、国内を中心にシェアの維持、拡大に注力致しました。

利益面につきましても、売上高急伸の一方、効率的な運用により販売費及び一般管理費が、売上高の伸びに伴うことなく推移したことから、大幅な営業利益の増加と共に営業利益率も著しく上昇致しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が8,028百万円（対前年同期比3,362百万円増、72.0%増）、営業利益が3,010百万円（同2,194百万円増、268.9%増）、経常利益が3,024百万円（同2,265百万円増、298.5%増）、四半期純利益が1,928百万円（同1,528百万円増、381.9%増）となりました。

また、事業の種類別状況につきましては以下の通りであります。

（医薬品事業）

海外市場におきましては、円高影響等から前年同期に比較し減収となつたものの、国内市場におきましては、上期における新たなTVコマーシャルやチラシ等の広告効果に加え、販売店側の店頭施策（製品の特別陳列等）も奏効し、特に『セイロガン糖衣A』の販売が堅調に推移し、国内市場でのシェア拡大に繋がりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の医薬品事業は、売上高が3,907百万円（同32百万円増、0.8%増）、営業利益が1,881百万円（同206百万円増、12.3%増）となりました。

（感染管理事業）

世界規模で発生、拡大した新型インフルエンザの影響から、国内においても衛生対策に関する意識と衛生対策製品への需要が従来以上に高まりました。当社衛生管理製品「クレベリン」シリーズに対する受注も一般用を中心に期初より急伸し、新たな販売チャネルの獲得や可搬型の低濃度二酸化塩素ガス発生装置『リスパス S』の出荷（累計16台）等もあつて、当事業は著しく伸長致しました。上期におきまして既に衛生対策が進んだことの反動から、第3四半期終盤には当社製品に対する受注も落ち着きを見せ始めたものの、当第3四半期連結累計期間の感染管理事業は、売上高が4,093百万円（同3,333百万円増、438.3%増）、営業利益が2,345百万円（同2,043百万円増、677.1%増）と、前年同期を大幅に上回りました。

（その他事業）

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売により、売上高が27百万円（同4百万円減、12.9%減）、営業利益が5百万円（同1百万円増、29.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は14,519百万円（前連結会計年度末比3,059百万円増）となりました。また、負債合計は3,611百万円（同1,135百万円増）、純資産合計は10,907百万円（同1,923百万円増）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、感染管理事業伸長に伴う売上債権の増加等による流動資産2,949百万円の増加や、未払法人税等の増加等による流動負債1,074百万円の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金1,906百万円の増加等であります。なお、自己資本比率につきましては、前連結会計年度末から3.3ポイント低下し、75.1%となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、資金）が前連結会計年度末より753百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は4,049百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は971百万円となりました。税金等調整前四半期純利益3,012百万円に加え、減価償却費149百万円等による非資金費用の計上の一方、売上高伸長に伴う売上債権の増加額1,566百万円等の運転資本増加や、法人税等の支払額321百万円等の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は185百万円となりました。主に、生産設備に係る有形固定資産の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は29百万円となりました。主に、配当金の支払いによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表致しました通り、平成22年3月期連結会計年度の業績を以下の通り予想しております。

連結業績予想（前連結会計年度との比較） （単位：百万円）

	前連結会計年度 実績	当連結会計年度 予想	増減額	増減率
売上高	6,094	9,653	3,559	58.4%
営業利益	894	2,998	2,104	235.3%
経常利益	843	2,995	2,151	254.9%
当期純利益	470	1,799	1,328	282.1%

事業の種類別連結売上高（前連結会計年度との比較）

	前連結会計年度 実績	当連結会計年度 予想	増減額	増減率
医薬品事業	4,887	4,759	△128	△2.6%
感染管理事業	1,167	4,857	3,689	316.0%
その他事業	38	36	△2	△7.3%
売上高合計	6,094	9,653	3,559	58.4%

当第3四半期連結累計期間の業績は、当該業績予想に対し、売上高の進捗率が83.2%となり、営業利益、経常利益及び当期純利益の進捗率は既に100%を超える水準にあります。一方、第4四半期におきましては、季節的に販売店側が店頭陳列商品を見直すことが予想され、当社の衛生管理製品に対する受注減少と返品率の上昇により、感染管理事業の売上高及び全体の収益の著しい低下を見込んでおります。ただし、この影響につきましては、当該業績予想に既に反映させており、また、第3四半期より開始した衛生管理製品に関する新たなTVコマーシャルの露出量の見直し（増加）や販売店側への販促策の提案強化等により、製品需要創出と返品率低下への対策を進め、販売費及び一般管理費の一層の効率的運用等も図ることから、今回、通期の業績予想の変更はございません。しかしながら、急速に衛生対策が進んだことへの反動や、新型インフルエンザの報道が沈静化したことによる影響等により、衛生管理製品に対する需要や返品率が当初の計画以上に悪化した場合には、第4四半期の業績は、当連結会計年度の業績予想に悪影響を及ぼす可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,078,556	3,335,423
受取手形及び売掛金	2,942,761	1,387,698
商品及び製品	846,607	487,298
仕掛品	745,373	581,446
原材料及び貯蔵品	272,876	284,708
その他	281,700	130,475
貸倒引当金	△21,897	△10,322
流動資産合計	9,145,979	6,196,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,161,614	1,177,867
機械装置及び運搬具(純額)	231,564	232,021
土地	2,653,922	2,653,922
その他(純額)	158,470	103,600
有形固定資産合計	4,205,572	4,167,410
無形固定資産	68,929	47,829
投資その他の資産	1,098,770	1,048,101
固定資産合計	5,373,272	5,263,342
資産合計	14,519,252	11,460,070
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	928,488	795,956
未払法人税等	1,032,310	176,348
返品調整引当金	40,500	14,000
賞与引当金	75,236	134,110
その他	694,869	576,864
流動負債合計	2,771,404	1,697,279
固定負債		
退職給付引当金	216,806	186,393
役員退職慰労引当金	578,200	560,700
その他	44,960	31,637
固定負債合計	839,967	778,730
負債合計	3,611,371	2,476,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,271	96,271
資本剰余金	7,500	7,500
利益剰余金	10,851,628	8,944,705
株主資本合計	10,955,399	9,048,476
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,654	△11,059
為替換算調整勘定	△70,172	△53,356
評価・換算差額等合計	△47,518	△64,415
純資産合計	10,907,880	8,984,060
負債純資産合計	14,519,252	11,460,070

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,666,734	8,028,807
売上原価	1,201,473	2,116,002
売上総利益	3,465,261	5,912,805
返品調整引当金戻入額	11,000	14,000
返品調整引当金繰入額	17,000	40,500
差引売上総利益	3,459,261	5,886,305
販売費及び一般管理費	2,643,179	2,876,124
営業利益	816,082	3,010,181
営業外収益		
受取利息	19,454	16,615
受取配当金	2,306	1,897
受取賃貸料	15,900	13,840
その他	12,109	8,951
営業外収益合計	49,770	41,305
営業外費用		
売上割引	—	9,600
生産休止費用	23,757	—
為替差損	69,578	16,733
その他	13,672	1,027
営業外費用合計	107,008	27,361
経常利益	758,843	3,024,125
特別利益		
投資有価証券売却益	3,406	—
特別利益合計	3,406	—
特別損失		
固定資産除却損	3,225	3,227
減損損失	6,811	—
投資有価証券評価損	143,855	7,974
特別損失合計	153,893	11,202
税金等調整前四半期純利益	608,357	3,012,923
法人税、住民税及び事業税	199,595	1,177,776
法人税等調整額	8,662	△93,036
法人税等合計	208,257	1,084,740
四半期純利益	400,099	1,928,182

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	608,357	3,012,923
減価償却費	124,513	149,819
減損損失	6,811	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△11,269	30,413
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	33,600	17,500
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	6,000	26,500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△52,649	△58,873
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,866	11,577
受取利息及び受取配当金	△21,761	△18,513
固定資産除却損	3,225	3,227
投資有価証券評価損益 (△は益)	143,855	7,974
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,406	—
為替差損益 (△は益)	66,277	10,386
売上債権の増減額 (△は増加)	△952,745	△1,566,663
たな卸資産の増減額 (△は増加)	87,877	△513,480
仕入債務の増減額 (△は減少)	111,708	136,781
未払金の増減額 (△は減少)	—	△44,756
その他	△90,867	68,943
小計	68,395	1,273,758
利息及び配当金の受取額	21,976	18,717
法人税等の支払額	△180,099	△321,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	△89,726	971,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△33,429	△53,234
定期預金の払戻による収入	56,258	63,894
有形固定資産の取得による支出	△526,718	△163,221
無形固定資産の取得による支出	△10,095	△33,301
投資有価証券の取得による支出	△1,052	△1,080
投資有価証券の売却による収入	6,284	—
その他	317	1,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△508,434	△185,256
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△8,018
配当金の支払額	△10,630	△21,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,630	△29,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,113	△2,996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△617,905	753,557
現金及び現金同等物の期首残高	2,787,214	3,295,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,169,309	4,049,313

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	医薬品事業 (千円)	感染管理事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,874,263	760,591	31,880	4,666,734	—	4,666,734
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,874,263	760,591	31,880	4,666,734	—	4,666,734
営業利益	1,675,867	301,786	4,501	1,982,155	(1,166,073)	816,082

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	医薬品事業 (千円)	感染管理事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,907,072	4,093,958	27,775	8,028,807	—	8,028,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,907,072	4,093,958	27,775	8,028,807	—	8,028,807
営業利益	1,881,880	2,345,111	5,828	4,232,819	(1,222,638)	3,010,181

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製商品
医薬品事業	胃腸薬「正露丸」、「セイロガン糖衣A」、「ラッパ整腸薬BF」
感染管理事業	二酸化塩素関連製品「クレベリン」、「リスパス」
その他事業	木酢関連製品

3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が医薬品事業で20千円、感染管理事業で2,309千円減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	台湾 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,982,310	547,248	137,175	4,666,734	—	4,666,734
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	689,756	161,315	—	851,072	(851,072)	—
計	4,672,067	708,564	137,175	5,517,807	(851,072)	4,666,734
営業利益	1,892,949	47,950	37,107	1,978,007	(1,161,925)	816,082

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	台湾 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,342,192	593,443	93,171	8,028,807	—	8,028,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	435,405	528,153	—	963,558	(963,558)	—
計	7,777,597	1,121,596	93,171	8,992,365	(963,558)	8,028,807
営業利益（又は営業損失）	3,920,059	263,514	△2,286	4,181,287	(1,171,106)	3,010,181

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が日本で2,330千円減少しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	中国・香港	台湾	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	513,256	137,175	20,802	671,235
II 連結売上高（千円）				4,666,734
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	11.0	2.9	0.5	14.4

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	中国・香港	台湾	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	593,443	93,171	24,507	711,121
II 連結売上高（千円）				8,028,807
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	7.4	1.2	0.3	8.9

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は次の通りであります。

その他の地域・・・米国、カナダ、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。